

令和5年度第5回大阪府がん対策推進委員会（概要）

1 日 時：令和6年3月27日（水）16時～18時

2 場 所：大阪国際がんセンター 1階 大講堂

3 議 事：

- (1) 第4期大阪府がん対策推進計画について
- (2) 大阪府がん対策推進委員会各部会の活動状況について
- (3) 第3期大阪府がん対策推進計画P D C A進捗管理票について

4 委員からの意見要旨

- (1) 第4期大阪府がん対策推進計画について

【意見要旨】

- アルコール摂取歴がほとんどない脂肪肝について記載する際、現在は「NASH」ではなく、「MASH」という表現を用いることが一般的であるため、適切な表現へ修正が必要。
- 訪問看護ステーションで提供されているリハビリのほとんどは、廃用予防を目的とするものであり、QOLの向上に必要ながんリハビリは十分に提供されていないと思う。
- 入院期間中に提供される短期間のリハビリよりも、退院後の在宅療養中等に提供される長期間のリハビリが今後重要になってくるため、診療報酬を算定できるようにする等、長期間のリハビリが提供できる体制の整備が必要。
- 在院日数の減少により、在宅において患者が自己管理する場面が増えてきているため、リハビリの実態調査と併せて、栄養に関しても調査いただきたい。
- リハビリの実態調査に関連して、リンパ浮腫に関するフォローアップについても併せて調査いただきたい。
- リハビリや在宅に関しては、高齢のがん患者にフォーカスが当たってしまうことが多いが、小児・AYA世代のがん患者についても実態調査の項目に含めていただきたい。
- 職域におけるがん検診は、地域間や会社間で温度差があり、一体的に取り組めていない現状であるが、市町村としては、大阪府の協力を得つつ職域との連携を進めて参りたい。
- 療養中の就学支援について、高校生以降は、学校によって対応が異なり、協力を得られないことも少なくないため、推進していくには学校への働きかけ等も必要。
- 「相談支援センター」と記載されている箇所については、国の整備指針に記載され

ている「がん相談支援センター」という用語へ修正が必要。

【審議結果】

○承認。

(2) 大阪府がん対策推進委員会各部会の活動状況について

○意見等なし。

(3) 第3期大阪府がん対策推進計画P D C A進捗管理票について

【意見要旨】

○がんゲノム医療については、都道府県単位よりも広域の単位での問題であるが、大阪府においても実態把握の検討が必要。

【審議結果】

○承認。